

帆船日本丸友の会だより(電子版) Vol. 237 (2024. 5.8)

● オランダの帆船「スタッド・アムステルダム」 (2024.5.5 田淵様より)



横浜海上防災基地ふ頭にて



【会員紹介】

駒井洋介



2023年度入会の駒井洋介です。金沢区出身で、小学校2年生の時に開催された横浜博覧会で日本丸を見たことをよく覚えています。その後、藤沢、川崎、アメリカ(シアトル)、大阪などにも住んでいましたが、2022年に中区に引っ越してきた際に、横浜に関する地域コミュニティ活動に関わりたいと思い、友の会活動に参加させていただきました。他にも横浜市内のボランティア活動や町内会活動に参加したり、小型船舶免許1級を取得したり(ペーパーキャプテンですが)もしています。最近では、再び戻って来た横浜の地に永住したいと考えており、全国転勤がある会社からの転職活動も始めました。実は、2023年度は結局、甲板清掃には4回しか参加できず、皆様からは「見慣れない若造がいるな?」という感じだったかもしれませんが、2024年度は展帆ボランティア(76期)に参加したこともあり、甲板清掃にももっとたくさん参加しようと思っていますので、よろしくお願いいたします。

岩崎清三

昨年旅行で横浜を訪れたとき日本丸を見学した折に友の会の存在を知り、今年入会いたしました。私は幼少期から船が好きで近くの造船所に船を見に行っていました。一般に男の子は乗り物が好きで、大人になるにつれてその興味は薄れていく方が多いのですが、私の場合これまでも、そして年を重ねた今も船が好きです。その様な訳で中学校から高校に進学するにあたり船乗りの学校に進みたいと思っておりました。中学3年の夏ごろ図書館で「柳原良平 船の本」に出会い一心に読みふけりました。この本から船に関する知識を増し加え、益々船乗りになりたいという思いが強まりました。そして柳原氏に手紙を書き、船乗りの学校に行きたいのでどこの学校に行ったらよいかお尋ねしたところ、大島商船高専と門司海員学校を教えてくださいました。柳原氏は商船高専を勧めてくださいましたが、私は海員学校(現 海上技術学校)を選択いたしました。

理由は

- ①北九州市内にあったこと
- ②授業料が無かったこと
- ③はやく船乗りになれること
- ④上級免状を海技大学校に進学し取得できること

以上が主な理由です。

その後、海員学校を受験しこの学校で船乗りの教育を受けました。乗船実習の船は北斗丸でした。(2015年12月に火災事故があった商船三井フェリーのサンフ
ラワだいせつの坂上幹郎キャプテンは私の三期上の先輩です)

その後海員学校を卒業し、日本汽船㈱に入社して船員として働きながら海技大学校に在学し上級免状を取るため勉強を続けておりました。しかし時代は変わっていき船会社は外国船員(外航船の場合)を雇用するようになっていきました。それで仕事を変えるならば若いうちが良いと思い船乗りを辞めました。陸に上がったカッパでしたので色々な仕事をしました。そして結婚を機に建設業(主に塗装)を自営で営むことになり今に至っています。年を重ねた今でも船が好きで時間があれば関門海峡を通過する船を見に行きます。また、最近では玉屋の古い六分儀と天測曆そして海図(北九州港を含む)を入手し、天測のまねごとをしたりしています。以上簡単ですが自己紹介をさせていただきました。

因みに私は一級塗装技能士(国家検定)の資格と塗装科職業訓練指導員(職業訓練校の先生)免許を持っております。日本丸の塗装のことで必要であれば喜んでボランティアしますので声をかけていただければと思います。

細沼敏夫

今年の3月、鳥海会長から大学造船科の同窓会連絡網を通じて、日本丸の真鍮磨きボランティア募集のメールを受け取りました。話を聞いてみると面白そうなので、すぐに入会を申し込みました。私は現役時代、大洋漁業で漁船の新造・修理の現場監督をしていました。今、日本丸が係船している三菱重工・横浜造船所(略して三横)の1号ドックには漁業母船が毎年ドックしていました。あの三横の跡地が50年後にこんな未来都市になるとは正に隔世の感があります。

日本丸は1930年建造、船齢94年なので、船としては驚異的な長寿です。その割には殆ど錆が見えないのは関係者のたゆまぬ努力があるのでしょう。真鍮磨きは小さなボランティアですが、日本丸が横浜の宝としていつまでも残るようお願いを込めて、これからも続けて行きたいと思います。

小崎徹



小崎徹です。宜しくお願いします。75歳ですが、タニタの体組成計での体力年齢は57歳と表示されます。

海に憧れ、船に憧れて横国大で造船を専攻し、造船所に就職できたのですが、約2年で、陸上の発電プラント関連に回され、爾来十一年。2024年4月で、やっと仕事人間から解放されたのを契機に、何度目かの人生更新をし、大好きな”日本丸”のメンテナンスボランティア（日本丸ボラ）に応募致しました。多趣味（DIY、庭いじり、皮革細工 etc.）ですが不器用です。今後とも宜しくお付き合いください。



市庁舎1階テラスから見た日本丸。

日本丸の真鍮磨きが終わった後、このテラスでお茶会をしています。
時間は10時頃～11時頃です。

ドリンクは各自、市庁舎内のコンビニで調達。

毎月第二、第四日曜日と展帆日に行っており、真鍮磨きをやらない方も歓迎です。よろしければご参加ください。（鳥海）

以上

明治大学 マンドリン倶楽部 チャリティーコンサート



2024 10/13 日

ポピュラー・ラテン・クラシック・古賀政男メロディーと幅広いジャンルの曲を50名のメンバーでお届けします。

◆日時/令和6年10月13日(日曜日)

開場13:20 開演14:00

終了16:20(予定)

◆会場/神奈川県民ホール(大ホール)

横浜市中区山下町3-1

◆料金/S席¥4,000・A席¥3,000(全席指定)

満席になった時点でチケット販売は終了とさせていただきますのでご了承ください。

◆出演/明治大学マンドリン倶楽部&OB

◆指揮/甲斐 靖文(音楽監督・常任指揮者)

◆ゲスト/トワ・エ・モワ

◆賛助出演/帆船日本丸を愛する男声合唱団



指揮 甲斐 靖文



トワ・エ・モワ

★チケットのお申し込み先(受付は7月15日より)

明治大学マンドリン倶楽部 横浜演奏会事務局
(大野屋書店内)

〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町6-136

TEL.045-261-0030 FAX.045-261-0023

Email ohnoya@aqua.ocn.ne.jp

チケットかながわ TEL.0570-015-415(10時~18時)

インターネット販売: <https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>

チケット担当者 内田 浩二 090-9233-4501



帆船日本丸を愛する男声合唱団

このチラシの裏面が申し込み用紙になっています。

主催 明治大学校友会 横浜地域支部 支部長 田野井一雄

後援 神奈川県/横浜市健康福祉局/神奈川新聞社/tvk(テレビ神奈川)/FMヨコハマ

